

鳥の目・魚の目・虫の目・コウモリの目で「交通と福祉」の将来を考える

今後の更なる人口減少社会では日本全体で様々な問題が噴出することとなるでしょう。「交通と福祉」の分野においては、ニーズ拡大・シーズ縮小基調があるなかで、国、自治体、事業者、国民、非営利団体それぞれの立場で、考え、連携しながら取組みを進めていく必要があります。

そこで、第5回目となる「交通と福祉の連携シンポジウム」では、これからの社会づくり・地域づくりに向けて、第1部では文化人類学の観点から上田先生、公共交通政策・おでかけ環境づくりの観点から加藤先生にご講演をいただきます。また第2部ではおでかけ環境づくりに取り組む事例報告の後、登壇者にてパネルディスカッションを行い、今後の「交通と福祉」のあり方について議論します。

【開催概要】

- 日時 : 2025年5月18日(日) 10時～17時
会場 : 名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール[会場参加、100名まで]
or YouTube 配信[入退場自由、～入場可]
参加費 : 無料 *「来場は公共交通機関」をご利用下さい



- ◆申込フォームアドレス 右記 QR コード (<https://forms.gle/L5ggNuCqq3wZXf9S7>)
※Gmail より受付案内のメールが自動返送されます。返信がない場合は下記までお問い合わせください
◆現地にて懇親会(5,000 円)を開催。現地参加と懇親会のお申込み5月 10 日迄

第1部:これからの社会・おでかけ環境づくり (10時～12時)

記念講演 上田 紀行 氏(東海学園大特命副学長・前東京工業大学副学長)

日本の文化的特徴、「生きること」から、日本のこれからの社会を語る。

基調講演 加藤 博和 氏(名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター教授)

「本当の意味で『だれもが気兼ねなくおでかけできる』地域にしていこう

いまその取り組みをしなければ、2040 年にその地域はない」

国・自治体の「おでかけ」政策は待ったなし！先送りしない！

第2部:“人口減社会”に向けた「交通と福祉」(13時～17時)

◆おでかけ環境づくりの事例報告

池上 明子 氏 (一般社団法人 全国自治体ライドシェア連絡協議会事務局長)

中根 裕 氏 (NPO 法人 全国移動サービスネットワーク理事長)

森 美親 氏 (社会福祉法人 AJU 自立の家)

松下 武人 氏 (藤枝市都市建設部地域交通課長)

浅見 知秀 氏 (みちのりホールディングス ディレクター)

◆パネルディスカッション

交通と福祉の融合に向けた検討会

【共同代表】加藤 博和(名古屋大学)、樋口 恵一(大同大学)、遠山 哲夫(南医療生活協同組合)

事務局 遠山哲夫 携帯:080-1580-6904 メール tooyama@minami.or.jp